

新大久保のオーバーツーリズムによる 地域住民が苦悩していることをどう解決するか

高校2年

目次

1. はじめに

探求理由

2. 新大久保ってどんな所？

大久保地域の歴史

大久保地域の概況

大久保の名の由来

百人町の名の由来

新大久保がコリアンタウンになった理由

3. 調査方法

4. 調査した問題

実際に見て気付いた問題点

- ・ゴミの問題

- ・交通の混雑問題

地域の人の声

5. 対策・解決策

新宿区が取り組んでいる対策

駅の対策

ゴミ問題の解決策

交通の解決策

その他の対策

6. 考察と今後の取り組み

協力

引用・参考文献

1. はじめに

近年、韓流ブームの影響か新大久保に観光客が増えてオーバーツーリズムの問題が加速していると考える。

オーバーツーリズムとは、観光客が過剰に増加し観光地の地域住民の生活や、自然環境に悪影響を与え、結果として観光客の満足度まで低下させてしまう事を指す。2020年にコロナ禍のため、一時的に大久保地域の観光客数は低下したものの緊急事

態宣言が解除され、また増加し始めた。

新大久保地域周辺の住民の生活が脅かされる程の事態に発展している状況において、自分なりに調査し、どのような対策や解決方法があるかを考察してみる。何故このテーマを選んだかという点、私は小さい頃から近くに住んでいて、大久保地域で友達と遊んだり待ち合わせしたりするのが年々困難になって来ていると感じたからだ。さらに知り合いの地域の方々からも、困っている話をたくさん聞くようになった事がきっかけとなりこのテーマを探求することにした。

2. 新大久保ってどんな所？

新大久保とは地名ではない。大久保地区の中にあるJR山手線の駅名が「新大久保」で大久保と百人町の間位置する。百人町側にはJR総武線の大久保駅がある。ほとんどの人が『新大久保』と言っている場所は、地名で言うと大久保1丁目～2丁目の韓国系の店が多数存在する辺りである。大久保通り周辺は、現在コリアンタウンとしてのイメージが先行しているが、明治大正期から小説家の国木田独歩や思想家の幸徳秋水、ギリシャ出身の小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）など著名な文人たちが暮らしていた都内有数の文化のまちである。

《大久保地域の歴史》

- 天正18年 小田原城が落城し、徳川の領地となる。
- 天正19年 東大久保村と西大久保村に分かれる。
- 慶長 7年 西大久保村の西部が百人町となる。
- 明治22年 町村制度施行で東大久保村、西大久保村、大久保百人町が合併して大久保村となる。
- 大正元年 大久保町と改称し大久保百人町は百人町となる。
- 昭和 7年 淀橋区となる。東大久保1～3丁目となる。西大久保は1～4丁目、百人町は百人町1～4丁目となる。
- 昭和22年 3月に新宿区となる。

《大久保地域の概況》

新宿区のほぼ中央に位置し、10か所の特別出張所中で最も人口が多く、外国人が占める割合も最も高い。

人口：43,340人（うち外国人10,007人、23.1%）（令和5年1月1日現在）

面積：208ヘクタール（区全体の11.4%）

管内町会数：20町会（自治会含む）

管内を学区域とする区立小中学校

大久保小・天神小・戸山小・西戸山小
西早稲田中・新宿中・新宿西戸山中

《大久保の名の由来》

室町時代後期に小田原北条氏に属した太田氏の家臣の名前から
大きな窪地という地形から、など諸説あり

《百人町の名の由来》

江戸時代はじめ、徳川家康が江戸入りに際し、配備された鉄砲隊が居住し、大久保百人大縄屋敷といわれたことからついた。当時、鉄砲隊同心の内職としてつつじの栽培が盛んに行われていた。



百人町のマスコットキャラクター同心くん

《新大久保がコリアンタウンになった理由》

人々が韓国の食べ物やグッズを求めて、来るようになったのは百人町1～2丁目と大久保1～2丁目に韓国系の店が密集し始めた2000年頃からだ。

私の父が子供の頃には既に新大久保に在日韓国人が創業したロッテの工場があり、大久保通りには数軒の韓国料理屋が営業していたという。

それ以外は、日本人の経営する個人商店がほとんどを占める商店街だった。

2002年のサッカー日韓共催ワールドカップに続き、2003年「冬のソナタ」に始まる韓国ドラマブームにより、コリアンタウン化し始めた。

その後、2010年頃からK-POPブームでほとんどの店が韓国系に変わった。

2011年、東日本大震災で韓国人の友達が韓国に引っ越してしまったタイミングと同じ頃に何軒もの韓国の店が閉店した。

K-POPの人気も続いていて、東日本大震災の風評被害が落ち着くにつれ、また店の数が増えていき、今のコリアンタウンのような状態になった。

今では、ネパール・中国・タイ・ベトナムなどの店も増えてきていて、エスニックタウンとも呼ばれている。

3. 調査方法

- ・新大久保に行って、どのような問題点があるのかを観察する。
- ・新大久保駅の電車を降りてから改札を出るまでにかかった時間を測る。
- ・地域の方々に話を聞く。
- ・新宿区役所の人にインタビューして、どのような対策をしているのかを聞く。

4. 調査した問題

《実際に見て気づいた問題点》

1. ゴミ問題

- ・観光客による食べ歩きで出たゴミのポイ捨て
- ・飲食・休憩スペースはあるが、案内が貼ってある場所もわかりにくいというえ、飲食店から遠すぎるせいかあまり使われていない。



(筆者撮影)

- ・ 店舗から出たゴミの置き場

歩道や車道に店舗から出たゴミやダンボールが長時間置いてある所には通行人がその近くにゴミを捨てていく事が多くみられる。



(筆者撮影)

2, 交通の混雑問題

- ・ 歩行者数

【参考】歩行者数の年度別平均（土曜日の日中午後30分） 新宿区役所から提供

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歩行者数	約1,200人	約1,500人	約1,800人
最大	約2,000人	約2,200人	約2,400人
最小	約600人	約800人	約1,300人

※令和元年の最大は約3,000人

表から見るとコロナが落ち着いていくにつれ、歩行者数が増加している。

【令和5年度 交通量調査結果】 13:00~15:00の間の30分間の歩行者通行量

新宿区役所から提供

	歩行者	備考
4月1日(土)	1,866人	
4月8日(土)	1,861人	曇り→雨
4月15日(土)	1,474人	雨
4月22日(土)	2,032人	
4月29日(土)	2,238人	GW
5月6日(土)	1,968人	GW
5月20日(土)	2,186人	雨→曇り
5月27日(土)	2,285人	
6月3日(土)	1,625人	雨→晴
6月10日(土)	2,144人	
6月17日(土)	1,996人	

・歩行者のマナー

歩道が混雑しすぎて歩きづらいので、車道に出て歩く人がいる。

横断歩道がない所で渡る人が多い。



(筆者撮影)

- ・ 自動車の駐車違反

納品に来た業者の車も多いが、一般の車もかなりの台数が道路に停まっている。

駐車違反の車で道路が混雑している時でも取り締まりを見かけた事は1度も無い。新大久保交差点付近のコインパーキングには、かなりの空きがあったが、大久保通り沿いの車道には駐車違反車両が多い。

宅配便の車はコインパーキングに停めてから台車で荷物を運んでいた。



(筆者撮影)

- ・ 自転車の駐輪違反

新大久保駅より大久保駅に向かう側に駐輪違反の自転車が多数。

フードデリバリーの自転車やバイクが車道で出待ちしてる。



(筆者撮影)

《新大久保駅で電車を降りてから改札を出るまでの時間を測った結果》

それほど混んでないと感じたうちで1番短い時間：1分44秒

混んでると感じたうちで1番長くかかった時間：3分21秒

《地域の人々の声》

- ・ 民家の前に食べ歩きのごみや嘔吐物が放置されている。
- ・ お寺の中にある他人のお墓で自撮りをしながら飲食をしてSNSにアップロードした後、ゴミを放置して行く。
- ・ 金魚が入っている、ペットショップの店頭の水槽の中に食べかけの飲食物を入られた。

5. 対策・解決策

《新宿区が取り組んでいる対策》

- ・ 声掛けによる注意喚起、啓発活動
- ・ 路上障害物を設置・放置した人に対して撤去するように指導・勧告し、路上障害物が繰り返し設置・放置され、除去していない状態にあると認めるときには、区が除去し一時保管をする
- ・ 啓発用のポスター・チラシの作成・掲示
- ・ 啓発用のティッシュを作成し来街者へ配付
- ・ 飲食スペース、滞留スペースの確保
- ・ 土、日、祝日に交通誘導員を配置している
- ・ 歩道部に分離線を表示
- ・ 看板及びシールによる注意喚起、啓発活動
- ・ 地域と行政との連携（地元クリーン活動への支援、各店舗への啓発活動）
- ・ 交通誘導員などを配置したり、混雑の対策に使われる費用は年間約3000万円にもなっている。



混雑の緩和に貢献する交通誘導員

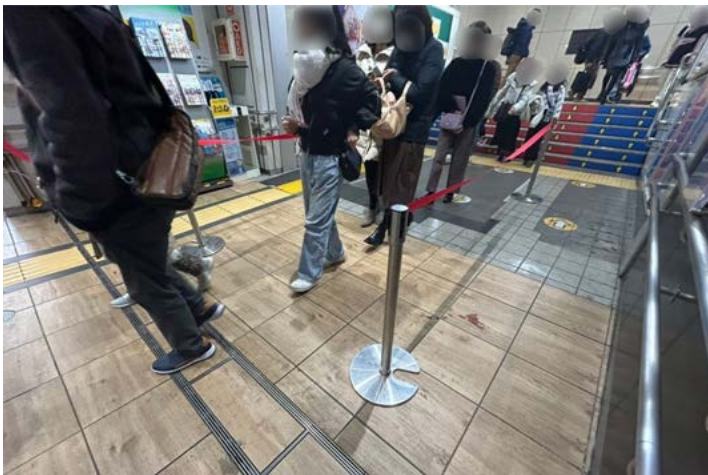
(筆者撮影)



ゴミを拾う人（筆者撮影）

《駅の対策》

- ・ アナウンスをして立ち止まらないように呼びかける。
- ・ 駅の中が混雑しないようにベルトパーテーションで区切っている。



（筆者撮影）

《ゴミ問題の解決策》

- ・ 食べ歩きの店の店頭にはゴミ箱を置いてあるところもあるが、店員に声をかけてゴミを引き取ってもらう店もあり、どこに捨てて良いか迷うことがないように、ゴミ箱をわかりやすく設置する。
- ・ 新大久保の特集番組などで食べ物やグッズなどの店の案内だけでなく、ゴミを捨てる場所やマナーも紹介してもらえるように働きかけるなどマスコミの影響力を利用して新大久保に来る人々の意識を変えていく。
- ・ 店で出たゴミを、ゴミ収集車で回収する回数を増やす。ゴミの回収時間以外に長時間路上にゴミを出しておかない。

《交通の解決策》

- ・ 歩道が混雑するので、飲食店などの空席まちの行列を無くすために店の公式LINEなどを活用して時間になったら来てもらう。
- ・ 駐車違反の取り締まりを強化する。警察も駐車違反を取り締まっていると思うが、警察ができない時間帯は駐車監視員を動員する。
- ・ フードデリバリーの違法駐輪も駐車監視員や警察に取り締まってもらう。
- ・ 道にパーキングメーターをつけて、その収益を混雑対策の費用に充てる。料金は周辺のコインパーキングより高めに設定する。料金を高めにすることで既存のパーキングに車を誘導する。パーキングメーターを設置すると自転車やバイクが通れなくなるという意見もある。しかし、いつ見ても駐車違反の車が停まっているので、パーキングメーターをつけた状態と同じである。それならパーキングメーターを設置して、混雑費用にすることで、区民の税金を他の事に使うこともできる。
- ・ 駅以外にも、待ち合わせ場所になるような特徴のある場所を作る。例えば、渋谷のハチ公像のようなオブジェを通行の邪魔にならないようなところに何ヶ所か設置して人々を分散させる。その場所もインターネットで簡単に検索できるようなサイトを作る。

《その他の対策》

- ・ 飲食スペースの場所までの地図をQRコードで読み取れるようにして、各店舗のわかりやすい場所に貼ってもらう。しかし、利用者が少ないのは飲食スペースが遠すぎるという要因もあると思われる。大久保通りより新大久保の交差点から西武新宿へ向かう線路沿いの歩道が両側とも比較的通行量が少なめなので、サポートベンチを設置し簡易的な飲食スペースとして利用することで、大久保通りのガードレールに腰掛けて飲食している人を減らす。そうすることで、大久保通りの歩道が若干スムーズに移動できる可能性が高くなる。
- ・ 啓発用の掲示物はあるが、ほとんどが人々の目線には入っていない場所に設置されているので、見やすい位置に設置する。
英語、韓国語でも書いてはあるが、文字が小さすぎて読めないものもあり分かりやすく表示する必要がある。英語や韓国語の他にも、中国語など観光客数が多い国の言語も表記する。



(筆者撮影)

6. 考察と今後の取り組み

調べた結果、新大久保のオーバーツーリズムにより地域住民が苦悩していることを解決するためには区役所や、警察、各店舗、観光や買い物などで訪れる人々全員が協力することが重要だと考える。

啓発用の看板や、ポスターなども必要だが、インターネットで簡単に発信できるシステムを利用することも必要だ。最近ではQRコードを使って予約や注文をする店が増えている。

QRコードは予約や注文以外にも混雑などの問題を解決することにも積極的に使っていくべきだ。

私は、観光客も観光客を受け入れる側のすべての人々は、もっとコミュニケーション

ンをとっていくことが不可欠だと感じた。

もちろん東京都や新宿区も、オーバーツーリズム対策の調査・分析、旅行者に対するマナー啓発、交通の混雑対策等すでに実行されているのだが、観光客の目に入らないところに啓発用のポスターなどを掲示したり、路肩を埋め尽くすほどの違法駐車があるのに取り締まらなかったり、個々の店だけではなく、大久保通り周辺全体の環境を考えるようなゴミ箱の設置場所を話し合うなど、「個」ではなく「地域全体」のことを考え思いやる事で問題を解決することが可能になるのではないかと思う。

《協力》

新宿区議会・池田大輔議員

新宿区大久保出張所 所長・石塚俊一様

新宿区役所 みどり土木部交通対策課長・小谷武彦様

他 商店街、地域住民の皆様

参考文献（引用文献）

新宿区役所から頂いた資料・グラフ

大久保の歴史

https://www.city.shinjuku.lg.jp/soshiki/261700okubo_00028.html

外国人は明治の頃から...新大久保はいかにして多文化タウンとなったのか

<https://locotabi.jp/kaigaizine/shin-okubo-history>

新大久保コリアンタウン70年史・ロッテ工場からチーズハットグまで

<https://locotabi.jp/kaigaizine/shin-okubo-korean-town-history>

